

竹島問題に関する調査・研究等に功績のあった 功労者に対する感謝状贈呈者一覧

※敬称略・五十音順（複数の場合は代表者）

区分	氏名（年齢）	功 績
研究 協力	<p>うちやま ち え こ 内山 千恵子 (75) (鳥取県東伯郡琴浦町)</p> <p>こだに よしぞう 小谷 恵造 (88) (鳥取県東伯郡琴浦町)</p> <p>きたやま さとる 北山 學 (90) (兵庫県洲本市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内山千恵子氏は、北前船交易で成功した廻船業者の高田屋嘉兵衛の一族で、鳥取藩と深い関係があったと言われる伯耆高田屋の初代当主・堺屋喜兵衛の子孫。 ・内山氏から、伯耆高田屋に関する貴重な史資料の提供や証言をいただき、一族の中には現在の鬱陵島で死亡した者もいたとの記録も発見された。これは当時、竹島が日本領と認識されていたことを示す資料となった。 ・今回の調査にあたっては、伯耆高田屋に詳しい郷土史家の小谷恵造氏、高田屋嘉兵衛・堺屋喜兵衛に詳しい郷土史家の北山 學氏にご協力いただいた。
研究 協力	<p>なかい たかこ 中井 孝子 (89) (鳥取県倉吉市)</p> <p>きたむら ひでのり 北村 秀徳 (67) (鳥取県倉吉市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中井孝子氏は、国に竹島の日本帰属の確定を求めた実業家・中井養三郎の一族で、中井一族の系譜編さんに取り組みました。 ・中井氏からは、養三郎のおい・中井金三が1909年に竹島に渡って絵画や写真を残したことや、旧制倉吉中学校（現・倉吉東高校）の美術教師として生徒に竹島での体験談を語っていたことなどの証言をいただいた。 ・また、中井氏の証言により、養三郎の兄で金三の父・喜七郎は倉吉市中河原で醸造業を営み、養三郎からアシカの肥料を買って販売をしていたなど、中井一族が倉吉の地で竹島と密接に関わっていたことが明らかになった。 ・北村秀徳氏も中井一族として、中井孝子氏の系譜編さんや今回の調査にご協力いただいた。
啓発	<p>はまだ としなが 濱田 利長 (84) (隠岐の島町)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県隠岐島漁業協同組合連合会代表理事会長、竹島領土権確立隠岐期成同盟会副会長として、竹島周辺海域での漁業秩序の早期確立に向け、国への要望活動や啓発活動に尽力された。 ・特に、平成8年の竹島領土権確立隠岐期成同盟会設立以降、25年以上にわたり国への要望活動に取り組みられたほか、平成24年に開催された「竹島問題の早期解決を求める東京集会」では、隠岐漁業者の代表として漁業の現状を訴えられた。 ・隠岐島漁業協同組合連合会には竹島での漁業権が与えられており、昭和初期の漁業権に関する資料の保管・調査協力や、漁業権の定期更新にも取り組んでこられた。
証言	<p>わたなべ とよいち 渡部 豊市 (85) (出雲市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・渡部豊市氏の祖父は、明治時代に現在の出雲市大社町で染物業を営んでおられた。 ・渡部氏の証言により、竹島のアシカ肉を加工した肥料が、出雲地方において染物業に使う葉藍栽培に使用されたことが明らかになった。 ・出雲地方でアシカ加工品が利用されていたことを示す初めての事例であり、これまで分かっていた弓浜半島の綿作だけでなく広範囲で利用されていたことが判明した。 ・今回の調査にあたっては、関係資料の提供や具体的な証言をいただき、現地調査にご協力いただいた。

*年齢は2023年2月22日現在

【参考】これまでの感謝状贈呈件数

(件)

	特別表彰	資料提供	研究協力	証言	翻訳	啓発	計
H19. 2. 22	0	5	3	0	0	0	8
H20. 2. 22	0	4	0	4	0	0	8
H21. 2. 22	0	4	0	2	0	0	6
H22. 2. 22	0	1	0	1	0	0	2
H23. 2. 22	0	2	0	2	1	0	5
H24. 2. 22	0	3	0	0	0	0	3
H25. 2. 22	1	2	0	2	0	0	5
H26. 2. 22	0	3	0	2	0	0	5
H27. 2. 22	0	4	0	1	0	0	5
H28. 2. 22	0	1	2	0	0	0	3
H29. 2. 22	0	2	0	1	0	0	3
H30. 2. 22	0	2	0	1	0	0	3
H31. 2. 22	0	2	1	0	0	0	3
R2. 2. 22	0	2	0	2	0	1	5
R3. 2. 22	0	0	1	5	0	0	6
R4. 2. 22	0	1	2	2	0	0	5
R5. 2. 22 (今回)	0	0	2	1	0	1	4